



# すくすく通信

8月号

子育て世代包括支援センター  
子育て支援室



支援室では子育てしている中で疑問に思ったり、心配な事や相談したいことなど、いつでも話を聞かせていただいています。最近では言葉のことで心配をされる方が多く、お母さんと一緒に、お子さんにとってどんな方法が良いのかを考えていけるように努めています。

今月は幼児期に心掛けると良い「声のかけ方」をお伝えします。



「言葉のシャワーをたくさん浴びさせてください」と言われたことはありませんか？幼児期はお父さん、お母さんなど周りの人と関わる中で言語を学んでいき、子どもへの語りかけをたくさんすることで、言語の発達を促すと言われています。

「では、具体的にどうすればいいの？」



**単語ではなく、文章で話しかけてあげてください！**



お子さんが「わんわん」や「ブーブー」など単語で話しかけてきたときは「わんわんいたね」や「ブーブだね」と返すことも良いですが、「かわいい犬がお散歩しているね」や「青い車が走ってるね」など文章で返してあげると、子どもの言語力がさらに育ちます。

言葉のレパートリーが増えることで、自分の気持ちを言葉で表現できるようになります。また、相手との意思疎通もスムーズに行うことができ、思いが伝わらず癇癢を起すことも少なくなってきました。ほんの少し意識しながらお子さんとの楽しい時間を過ごしてくださいね！

